



1958年 宇部駅前(現宇部新川駅)

■宇部の歴史と野外彫刻展の歩み  
ギネス世界記録®認定(2024年3月26日/宇部市)  
「最も長く続いている野外彫刻展」

宇部市は明治以降、石炭産業を中心にまちの基盤を築きました。戦後は工業都市として発展する一方、その代償として煤塵による大気汚染など環境問題に悩まされることとなります。そのなかで生活空間を住みよものへと変えていこうと「緑化運動」や「花いっぱい運動」が活性化。1958年、花の種子を購入するために集められた市民募金の一部で一体の彫刻が購入され、宇部駅(現在の宇部新川駅)前の噴水池に設置されると、人々の間で好評を得ます。その彫刻こそが、現在まで続く野外彫刻展のきっかけとなった、ファルコネの「ゆあみする女」の複製品でした。

やがて芸術性の高い彫刻を集め、青少年の教育や、若手芸術家の育成にも寄与しようという機運が生まれます。それは市民運動「宇部を彫刻で飾る運動」へと発展し、1961年に、日本初の大規模な野外彫刻展「第1回宇部市野外彫刻展」が、ときわ公園を舞台に開催されることとなりました。その後、1965年からは現代日本彫刻展、2009年からはUBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)へと名称を変えながらも、世界で最も歴史ある野外彫刻の国際コンクールとして開催を続けてきました。2024年3月には、長期に渡る持続的な開催が公式に認められ、「最も長く続いている野外彫刻展(The longest-running outdoor sculpture competition)」として、ギネス世界記録®に認定されました。



2024年3月26日



\*「羽田空港」から約90分 \*「新山口駅」から特急バス30分

# 彫刻世界

かたち・つくり・ひらく

ギネス世界記録®  
町おこし  
ニッポン認定記念特別展

「最も長く続いている野外彫刻展」(2024年3月26日認定/宇部市)



## Sculpture World: Shape, Create, Share

2024 10.18 [金] 12.15 [日]

10:00→16:00 火曜日休館 入場無料

ときわ湖水ホールアートギャラリー

〒755-0001 山口県宇部市大字沖宇部254番地(ときわ公園内)

お問い合わせ

宇部市観光スポーツ文化部 文化振興課  
〒755-8601 山口県宇部市常盤町一丁目7番1号  
TEL 0836-34-8562(9時~17時 土日祝除く)  
E-mail museum@city.ube.yamaguchi.jp  
https://ubebiennale.com



[助成] 令和6年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業  
[協力] 山口大学工学部感性デザイン工学科



UBE BIENNALE  
UBE International Sculpture Competition

[ギャラリートーク]  
2024年10月27日(日)、12月1日(日)、15日(日) 11時~30分程度

[同時開催]  
第30回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)  
2024年10月27日~12月22日 入場無料  
会場 UBEビエンナーレ彫刻の丘(ときわ公園内)  
第30回展では、28か国183点の応募作品から選ばれた15点の野外彫刻、入選模型30点が展示されます。

彫刻がすぐそばにあると世界はまるで別のもの感じられます。

すぐれた作品であればあるほど、そのかたちとそれを包む世界との対話と交流が生まれ、

世界も彫刻もおたがいに豊かで汲み尽くせない一体状態になるのです。

それは彫刻と世界が不可分になったことの証しです。

本展タイトルの「彫刻世界」という四文字は、その現れを表現しようとするものです。

空間のなかの「かたち」である立体としての彫刻は、ひとの手が「つくり」、そこから未体験の世界が生まれる=「ひらく」ことになる。

「彫刻世界」が立ち現れるのです。

暮らしのなかにはひとの手によって作られたかたちは無数に存在しています。

そうした三次元の立体は、機能が目的としっかり結びつければ、具体的にコップであったり、椅子であったり、ロケットであったりします。でも、目的との結びつきが失われると、名前は消えただけの適当な「もの」のように感じられ、逆に「彫刻世界」が誕生するきっかけとなります。

彫刻のかたちは、それを包む空間と不可分であり、そこに揺らぎが潜んでいる。

堂々たる不滅の記念碑と見えても、世界との関わりではじつはどこかで微妙に揺れている。

手のひらのうえの小石も、巨大な石積み時代の古代のピラミッドも、絶え間なく変化する「彫刻世界」のなかにあるのです。

本展は、「彫刻世界」を「かたち つくり ひらく」ことに取り組んで、

ギネス世界記録®に認定された宇部市の彫刻コレクションの素晴らしさを紹介するものです。

水沢 勉(美術史家・美術評論家)



《記念碑》  
Monument  
小谷 謙  
KOTANI Ken  
制作年 1961  
材質 コンクリート、鉄  
出展 第1回宇部市野外彫刻展

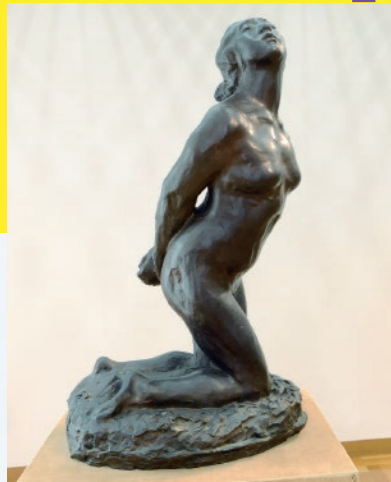


《門V·a》  
Gate V·a  
土谷 武  
TSUCHITANI Takeshi  
制作年 1963  
材質 コンクリート、鉄  
出展 第1回全国彫刻コンクール応募展 毎日彫刻奨励賞



《砂上槽》  
Sculpture on Sand  
江口 週  
EGUCHI Shu  
制作年 1965  
材質 木(桜)  
出展 第1回現代日本彫刻展 大賞(宇部興産株式会社賞)

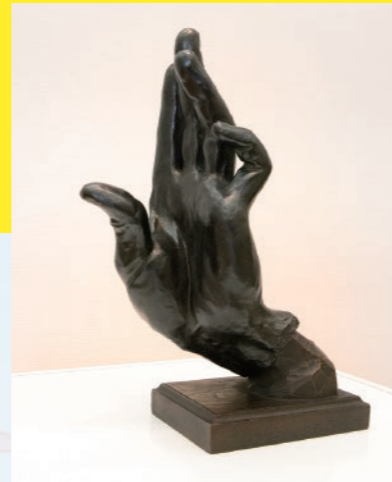
# Sculpture World: Shape, Create, Share



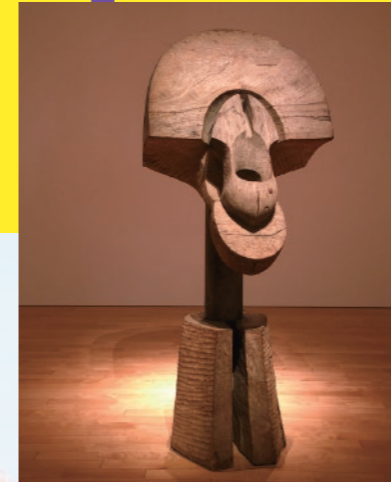
《女》  
Woman  
荻原 守衛  
OGIWARA Morie  
制作年 1910  
材質 ブロンズ



《若きカフカス人》  
Young Caucasian  
中原 悌二郎  
NAKAHARA Teijiro  
制作年 1919  
材質 ブロンズ



《手》  
Hand  
高村 光太郎  
TAKAMURA Kotaro  
制作年 1918  
材質 ブロンズ



《MASK - AH》  
MASK - AH  
澄川 喜一  
SUMIKAWA Kiichi  
制作年 1968  
材質 木(楠・櫻)  
出展 第1回神戸須磨離宮公園現代彫刻展 宇部市野外彫刻美術館賞



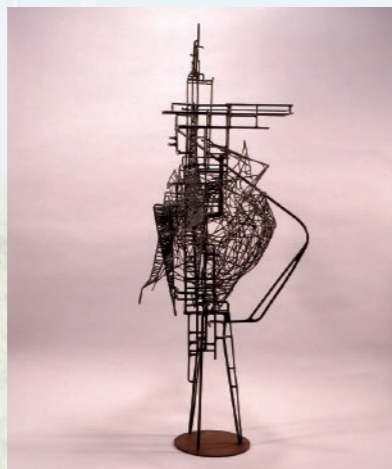
《無題No.2-66(原題:作品)》  
Untitled No.2-66  
湯原 和夫  
YUHARA Kazuo  
制作年 1967  
材質 鉄(クロムメッキ)  
出展 第2回現代日本彫刻展 毎日新聞社賞



《正五角形のピラミッド》  
Pentagonal Pyramid  
田中 薫  
TANAKA Isao  
制作年 1979  
材質 ステンレス、モーター、歯車  
出展 第8回現代日本彫刻展 大賞(宇部市賞)



《作品》  
Work  
レオン ターナー  
Leon Turner  
制作年 1961  
材質 石膏  
出展 宇部をテーマとした彫刻コンクール



《巢》  
Nest  
森 堯茂  
MORI Takashige  
制作年 1961  
材質 鉄  
出展 宇部をテーマとした彫刻コンクール



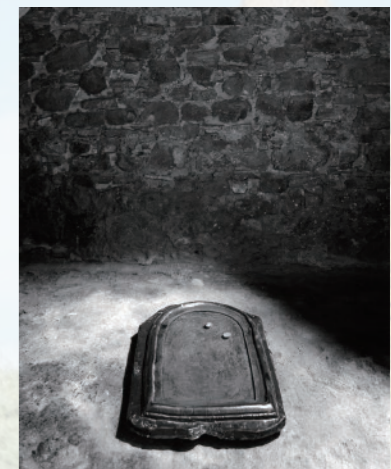
《寝そべる裸婦(裸婦のトルソー)》  
Woman Touching Ground  
木内 克  
KINOUCHI Yoshi  
制作年 1963  
材質 コンクリート



《鳩》  
Pigeon  
柳原 義達  
YANAGIHARA Yoshitatsu  
制作年 1981  
材質 ブロンズ



《ヘルメットのないPKO隊員》  
Peace Keeper without Helmet  
向井 良吉  
MUKAI Ryokichi  
制作年 1992  
材質 真鍮



《水鏡(アンドレイ・タルコフスキーへのオマージュ)》  
Lo specchio d'acqua, Omaggio ad Andrej Tarkovskij  
ホセイン・ゴルバ  
Hossein Golba  
制作年 1990  
材質 陶  
© Aurelio Amendola  
撮影場所: Villa Celle 撮影時: 1996年